

YIA 会員だより 2023年7月号

発行；吉野川市国際交流協会・広報部(Tel22-2271,Fax22-2270)

第223号 ホームページ URL <https://yia2020.net/>



【7月以降の活動予定他】

◎YIA スピーチコンテスト 7月16日(日)

10:00~12:00 場所：吉野川市山川公民館

◎徳島県日本語弁論大会： 7月23日(日)

13:00~ 場所：あわぎんホール

◎YIA グローバルセミナー 7月29日(土)

13:00~ 場所：吉野川市文化研修センター

第1回 イギリス 講師：Trangさん

(両親はベトナム人、国籍はイギリス、英語講師)

◆男女共同参画社会づくり功労者

「内閣総理大臣表彰」受賞

瀬尾 規子

6月27日に首相官邸で、男女共同参画社会づくり功労者「内閣総理大臣表彰」の



式典があり、徳島県からご推薦いただき功労者として表彰されました。全国から11人に岸田総理大臣から表彰状が授与されました。私は平成7年に徳島県女性リーダー養成海外派遣事業でカナダを訪問した際に、男女共同参画について学び、海外の先進地を視察したことを機に、男女共同参画社会づくりの活動を始めました。長年、徳島県男女共同参画リーダー連絡会などで活動してきたことや徳島県女性協議会の会長を6年務めたこと、県の総合計画審議委員として県政に活発に意見を発信していたことなどが評価され、このたびの受賞となりました。この活動を次世代に繋げていくことが私たち世代の使命だと思っています。これからも様々な活動の中で男女共同参画を進めてまいりたいと思いますので、引き続きご支援を賜りますよう、よろしくお願い致します。

◆スピーチコンテストの練習風景 三原 敦子

「外国人による徳島県日本語弁論大会」にYIAの日本語教室で学ぶ実習生が2018年から毎年出場するようになり、今年も3名が出場します。山川教室からエントリーした2名に「発表したい内容を話して聞かせて」というと、本当に素晴らしい、驚くような視点であれこれ

話してくれます。それを整理して文章にしてもらい、少し表現方法や文章の順番を入れ替えて、彼らの思いが十分伝わるようにスピーチ原稿を作成しました。

週に一度の日本語教室(それも休息や遊びに行きたいはずの日曜日)での練習、仕事が終わって疲れているにもかかわらず自分の部屋での練習。年々日本語や発表内容のレベルが向上してきているそんな弁論大会に挑む彼女らの熱意にいつも頭が下がります。

日本語の練習の中では日本語と母国語のアクセントや発音の違い(英語の不得意な私はよくわかります)に苦勞をすることがあります。英語の発音がとてもきれいなインドネシアの実習生に「日本語が上手になったら、今度は英語の発音が変になってくるよ」なんて冗談を言いながらしています。

他の出場者に比べて、彼らはまだまだ日本語が流暢ではないかもしれませんが、実生活に基づいた体験や思いは強みだと思います。7月16日には吉野川市で、そして7月23日には県での発表があります。時間が許せば是非彼女らの発表を聞きに来てくださいね。心に残る何かが伝わってくると思います。



◆川島中学の外国人生徒に日本語指導 萩森 健治

市教育委員会から、川島中学に転入した中国出身の男子生徒に対する日本語指導の要請があり、6月から指導を始めました。指導に先立ち5月末に4者面談がありました。4者面談というのは、生徒本人、生徒の保

護者、学校の先生、日本語指導者の4者が集まって、生徒の日本語理解程度や家庭環境など確認し今後の指導方針を検討する大切な面談です。学校側は、校長、学年主任、担任の先生の3名が出席されました。

生徒は山西省から5月末に来日したばかりで2年生に転入しました。日本語力を確認した結果、「こんにちは」ていどのあいさつはできますが、「ひらかな」「カタカナ」の読み書きはほとんどできません。母親は日本滞在歴が長く、生徒の進路希望や家族のことなどについて流ちょうな日本語で話しました。

面談の結果、以下の方針で日本語指導を行うことになりました。

- ・指導時間：毎日1時間で週に5時間指導
- ・担当講師：学校側3名とボランティア講師（萩森）
- ・指導目標：意思疎通がはかれる日本語会話力と考えたことを正しく表現できる力を養う。各教科の授業で使用される基礎的な語彙が理解できる。

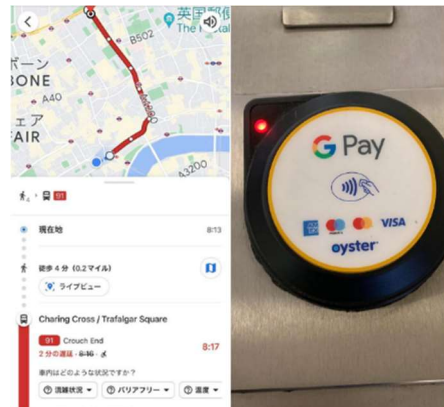
学校側でも3名の先生方が日本語指導されるという手厚い体制です。私はボランティア講師として支援する立場で、毎週金曜日放課後の16時から1時間指導することになりました。あいさつの言葉、生徒の日課での言葉、学校の施設（校舎、教室、グラウンド、職員室…）の名称など、学校や家庭生活に必要な日本語の指導から始めています。テキストは、「みえこさんの日本語」の教材をもとに写真や画像を取り入れたパワーポイントを自作し、それを大型テレビに映してわかりやすい授業を行っています。母親は日本で留学経験があり教育熱心で、姉は県立高校3年生で大学進学希望。家庭では日本語で会話するとのことで学習環境としては良好です。生徒は、まじめで学校生活にも少し慣れてきたようです。あせらず優しく指導を続けようと思います。



◆ロンドンに5日間滞在で感じたこと 細谷 裕重

コロナが5類移行したことで海外旅行を再開。今回はロンドンに5日間滞在しました。ホテルだけ予約して、あとは気ままに市内を観光しました。初めてのロンドンでしたが、2つの気づきがありました

1つ目は「観光のIT化」。市内移動はバスか地下鉄ですが、クレジットカードをGooglePayのマークにかざすだけで代金支払いが完了。さらにGoogleMapを使えば、スマホが日本語で目的地まで案内してくれました。小銭もガイドブックも一切不要でした。



2つ目は「イギリスが多民族国家」であるということ。



街を歩くと、旧植民地出身のアフリカ系、インド系、アラブ系、華僑などの人が全体の3～4割を占めている感じです。そういえばスナク首相の両親もインド系の移民だそうですね。ちなみに夕食5回のうち2回はインド料理を楽しみました。

◆川島高校 Summer Challenge 講座の紹介

田村 実

YIAの活動に中高生等若い世代の参加があると活動がより活性化し、かつ若者の国際感覚の醸成に貢献できるのではと思われます。「川島えがお倶楽部塾」の明石真和氏の紹介で昨年12月に萩森会長と川島高校を訪問。谷先生等と話し合いを進めてきた結果、8月16日～21日に同校で実施されるSummer Challenge講座でYIAが1講座を担当することとなりました。

- ・日時：2023年8月17日(木) 10:00-11:30
- ・内容：① YIAの活動紹介と技能実習制度の説明

講師：萩森副会長

- ②交流会：1～2年生が班に別れ、原田食品で働く外国人実習生4名との交流。YIAのメンバーもオブザーバーで班に合流

YIAが高校生と外国人実習生を結ぶAmbassadorの役割が期待できます。皆さんの応援、参加、よろしくお願ひします。